

1. 申請港概要

- 港湾管理者 愛知県
- 担当部署 愛知県 都市・交通局
港湾課 計画グループ
- 地元自治体 豊橋市、豊川市
蒲郡市、田原市

- 三河港は、日本のほぼ中央に位置し、首都圏や近畿圏もカバーする重要港湾である。

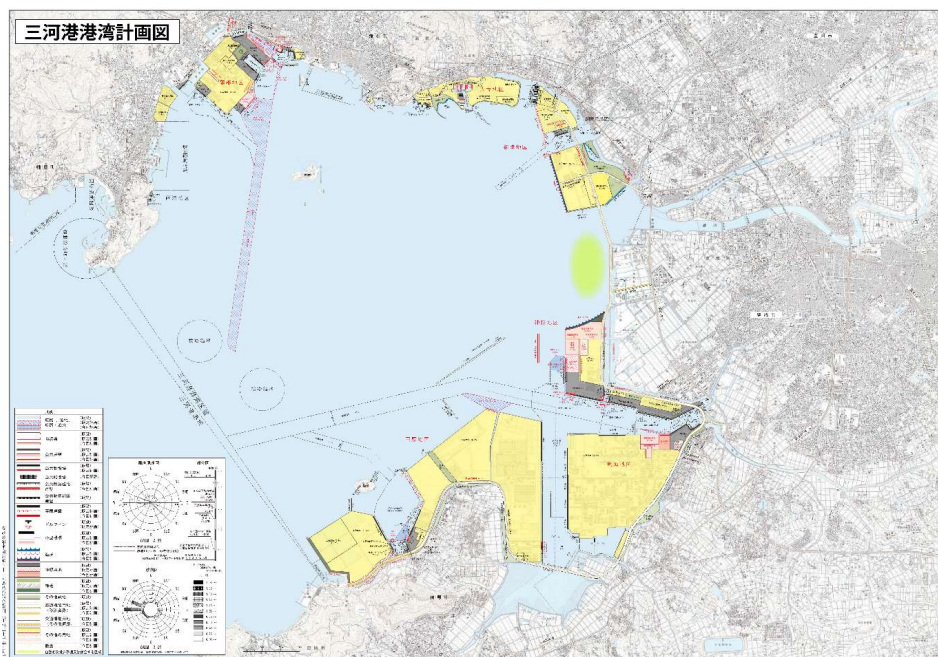
臨海部には多くの自動車関連企業が立地し、生産・輸出・輸入の拠点が集積する「自動車流通港湾」として機能している。

自動車を中心とした静脈物流の拠点化を目指し、平成15年にリサイクルポートに指定されている。



国土地理院地図より

■ 位置図（港湾計画図）



2. 申請港のサーキュラーエコノミーへの取組や貢献

○：実績
☆：計画

- ☆ 三河港では、循環資源貨物として令和6年度では約90万トン、令和7年度では約80万トンを取り扱っております。
 今後は、自動車産業における更なるリサイクル率向上の要請に加え、製鉄業における電炉導入拡大による金属スクラップの需要拡大や、使用済み太陽光パネルの大量廃棄に伴う処理需要に応えるべく、循環資源拠点港湾として、港湾施設の更なる機能強化に取り組んで参ります。
- 金属くず、再利用資材、廃棄物、廃土砂の循環資源貨物を取り扱っております。
- ☆ 愛知県では、「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」を策定しており、プラスチックや太陽光パネルなどを循環利用するモデル事業の展開や循環ビジネスの振興などを通じて、サーキュラーエコノミーへの転換を進めております。
 それらのプロジェクトチームには、三河港背後地に立地する企業も参加しており、この取り組みを通して、三河港長期構想に掲げるサーキュラーエコノミーへの移行を推進して参ります。

3. その他



写真：三河港臨海部に立地するリサイクル関連企業